

オオクロカミキリ

有明森林のトドマツ林で掃除伐をしていました。かなり太い立ち枯れ樹の伐倒に矢沢さんが取り掛かりましたが、直立しているので、どの方向にも倒せるのですが、いずれにしても掛り木になることを免れない状況で、チルホール組も参加して倒す方向に引っ張りましたが、見込みどおり掛り木になりました。樹幹を伐根から外すべく切込みをいれている際にチェーンソーが噛まれてしまいました。これを外すのに一苦労するのですが、それはさておきその作業中に剥がれた樹皮から黒くて細長い虫が這い出てきました。



喜んで捕まえさせていただきました。カミキリ虫で黒いのでクロカミキリ達にちがいないと嬉しくなりました、デジカメで撮影。画像の記録は2017年8月18日11時17分でした。

帰宅後調べましてオオクロカミキリと判定しました。分布は日本列島、千島列島、サハリン、シベリア、朝鮮半島、中国とすごく広いようです。針葉樹ならなんでもござれのようなので、広く分布できるのでありましょう。大きさは14~28mm。出現は7~8月です。



オオのつかないただのクロカミキリもいるのですが、図鑑「札幌の昆虫」には記載されていません。ネットで調べてみますと、これも北海道に分布することになっています。参考までにクロカミキリの映像も掲載しておきます。

←クロカミキリ



オオクロカミキリ→

有明森林のこのトドマツ林はエゾシカ達の休息場所のようであり、多くのトドマツが角砥ぎによって傷つけられていて、その傷口から腐れがはいるので、良材は期待出来ない状態にあります。この森が林業的に木材生産を目的としない「札幌市都市環境林」として位置づけられていますので、炭素を固定して酸素を供給してくれればよいのであれば、幹の傷などどうでも良いのですが、見栄えはよくありません。手入れされていないばかりでなく、鹿の害も立ち枯れの多い原因の一つだと思う次第でありました。

